

学校と地域の融合教育研究会

会報 NO.21

マーク制作: 関知磨子(秋津コミュニティ: 蚊帳の海一座)

ゆーごう



2003.3.31

融合研のホームページは <http://www.yu-go.info/>

事務局; 〒285-0843 千葉県佐倉市中志津7-17-4 TEL/FAX 043-463-1929

本号から、メール会員には印刷物での会報は郵送されません。印刷物として欲しい方は、ご自分でプリントアウトをしてください。その分、メール会員にはホームページやメール等による情報面で様々な特典があります。是非一度、上記のホームページをご覧ください。

本号の内容

- 1 重要;事務連絡 (前号とほぼ同じ内容を再掲させていただきました)
これからの会報の発行について
- 2 会員継続の意思確認と会費の納入について
- 3 大阪フォーラムの概要決まる
- 4 会員の活動から
本部の動き
各地での活動
千葉県支部が結成される
島根県の「綺羅星7」の活動
- 5 連絡いろいろ
2004年度のフォーラム開催の立候補を受け付けます
資料「東京都生涯学習審議会の答申」より

重要な事務連絡です

これからの会報発行および会費の納入について

事務局では、再三にわたり、会員への情報提供システムをはじめ事務上の手続きの効率化を検討してまいりました。その結果、今後は以下のようにさせていただくことになりました。

- 1 会員への情報提供システムためにインターネットの有効活用を図る。

会報の発行を、「メール会員」と「印刷物会員」に分ける。

会員数の増加とともに、メールをお持ちの会員が、3分の2を超えました。そこで、「メール会員」には、印刷物での会報は配布せず、インターネット上で検索していただく。これにより、事務量の減少になるとともに、会費の大半を占める送料の節減になり、会費を地方でのフォーラム開催等に補助することなどもできるだろうと思います。

ホームページを充実させます。(順次、作業に取り掛かっています。パスワードは、ときどき変更します)
これまでの全ての会報；第一号からはもちろん、発足までの経緯等も掲載します。新聞の切り抜き情報等は、
スキャナーかデジカメでできるだけ取り込みます。
これまでのフォーラム詳報；これまでに10回のフォーラム・ミニフォーラムを開催してきましたが、そのうち、
パソコンでの記録が残っているものを全て掲載します。
各地の情報；会員が企画したり参加したりする講演会やミニフォーラム的な活動が、各地で盛んになりました。
情報提供をいただければ、会場地に近い人へ参加を促すことができます。ホームページに常時掲載します。予定
のある方は、ご一報ください。
マスメディアに取り上げられたり執筆したものが掲載されたりしたとき、またその予定がある場合は、ご一報く
ださい。ホームページ上に掲載します。その場合、ホームページに掲載してよいかどうかを版元にご確認ください。
「これを読めば融合が分かる」というような融合に関する出版物もホームページ上に順次掲載します。

投稿は、大歓迎です。メールでも印刷物でも結構です。実践されていることや学社融合について思うことなど、事
務局へおよせください。

2 会員の継続意志確認および会費の納入について

融合研では、「幽霊会員をつくらない。」ということで、会員継続の意志確認をしています。例えば、行政などで配置
換えになり、他の部署に移動したので融合研を辞めたいという人等は、ご遠慮なく連絡ください。

メールをお持ちの方は、すでにメーリングリストで連絡されていますので、その方法でお願いします。

印刷物会員の方は、同封の葉書に必要事項を記入になって投函してください。

再登録の締め切り日を、4月30日と設定させていただきました。それ以降の登録は、退会して新規加入をしたとい
うようにさせていただきます。(会員番号が新規になります)

銀行口座の開設について

会費の納入について、これまでは郵便局の口座だけでしたが「銀行口座があると便利だ。」という声があり、この度
以下の口座を新設しました。ご不便をおかけしました。これからも、要望がございましたら事務局までご連絡ください。
郵便局の口座も今までどおりつかえます。

【振込先】

(1)郵便局口座 (記号)10500 (番号)42592921 宮崎念

(2)銀行口座 東京三菱銀行 普通預金 (店番)277 津田沼支店 (口座番号)1759307 (名義)融合研 宮崎念

以上、よろしくお願い申し上げます。

2002年度からの会費は、3000円です。

「融合フォーラム2003 in 大阪」について(概要)

昨年、西日本で初めての開催であった福岡フォーラムに引き続いて、今年も西日本の「大阪」で開催されます。
大阪は会員も多く、また近隣府県にも会員が多くなります。さらに活動も多彩で、早くから学社融合に取り組んでい
て事例も豊富です。以下に概要を載せます。今回は、これまでの夏休み中の開催に変わって9月開催となりました。ま
た、全体講演も、会員からいただいた声をもとに、やり方を変えたりこれまでとは違う人をお願いしました。運動会
の時期でもありますが、今から都合をつけていただいて秋の2日間を大阪で大いに語り合ひましょう。

融合フォーラム2003 in大阪

昨年の福岡フォーラムに続いて、大阪で開催されるフォーラムの準備が着々と進行しています。今年は、夏を避け、9月に開催されます。参加できるよう今から予定を入れて置いていただきたく、概要をお知らせします。

1 テーマ：ひとり一人の“わたし”が息づく「学社融合」を求めて

新しい教育方法としての学社融合の先にあるものは、いつでも誰でも学べる生涯学習と安全で安心なノーマライゼーションのコミュニティづくりに寄与する学校像だと考えます。同時に学社融合の前にあるものは「ひとり一人の“わたし”」が、生き活かされる学社でなければなりません。

6年目を迎えた融合研の大阪大会は、融合実践を磨きあいつつ、「その前にあるもの、先にあるもの」を見すえた大会にしたいと思います。

2 開催日：9/27(土) 12:00受付～

4～5分科会+屋台フォーラム+懇親会+鼎談+ふれあいタイム+融合研総会

9/28(日) 15:00終了

運動会が集中する時期かとも思いますが、ご参加できるようよろしくご検討ください。

3 会場；大阪府立青少年野外活動センター <http://www.yso.or.jp>

住所：大阪府豊能郡豊能町宿野437 tel：0727-34-0500

会場は、貸し切りになります。値段も安い上に、設備もそろっています。また、会員の中にはこの会場の所員の人もいますので、いろいろと便宜を図っていただけるものと思います。

交通：

1) (航空便)伊丹 阪急宝塚線・川西駅 能勢電鉄・山下駅 バス・センター (約1時間20分)

2) (新幹線)新大阪 阪急宝塚線・川西駅 同上

3) (自動車)大阪市内 阪神高速池田線木部インタ- 国道173号線 宿野 (約1時間10分)

>

4 9/28(日)10:00～12:00 インタビューダイアログ(鼎談)について

1) 弁護士 「大平光代さん」(ベストセラー『だから、あなたも生きぬいて』著者)

2) 「田上時子さん」；女性と子どもへの暴力防止についてサポート活動するCAP(児童虐待の全国団体)のNPO法人 女性とこどものエンパワメント関西代表

3) 油谷雅次さん；コーディネーター(融合研副会長・大阪府社会教育委員)

* 大平さんと田上さんお二人を引き出し役に話題提供をいただき、会場参加者とのやり取りをテンポ良く行うダイアログ方式(質問対話法)です。お二人の壮絶なご経験をお聞きしながら、参加者とともに学校・地域・社会の在り方を考え、より良く一歩前進するパワーがみなぎるようにと企画しました。

講演者の「大平光代さん」については、以下のエールが届いています。

1) 岩手藤尾です。油谷さん、融合研の大会には常に話題を提供いただいている地での開催にとっても期待しています。大阪は、日本で一番「ノーマライゼーションのまちづくり」を目指してと思っています。大平さんの講演は隣町で開催して、大変好評だったと聞いており、子どもの人権を核とした大会がいつそう進められることが可能な気がします。風土として東北には足りない部分にスポットがあてられるようで興味深々です。出きる限りの応援をいたします。

2) 宮崎総です。きょう(11月17日)NHKテレビで大平光代さんのことを取り上げていました。(「わたしはあきらめない」の再放送でした)。語り口や飾らない本音のトークで、私もファンになりそうです。

3) 宮城の野澤でございます。メインの講演者は油谷さんが講演を聞いて感動された『だからあなたも生きぬいて』の著者で油谷さんと一緒に大阪府社会教育委員をされている大平光代さんが良いと思います。彼女は子どもに寄り添った弁護士として活躍されていますしね。私も本を読ませていただきました。ぜひ、講演をお聞きしたいです。この案に大賛成です。ぜひ、ぜひ日程を調整して実現してください。よろしくお祈りします。

このように、まず講演(鼎談)が聞きどころです。

5 分科会；全体で5つ位を想定しその内3つを大阪で考える予定です。

第1分科会 大阪府 地域コーディネーター連絡協議会主催

大阪府 すこやかネット（地域教育協議会）の活動報告

・コーディネーター：渥美公秀さん（阪大助教授：地域コーディネーター講師）

第2分科会 公民館が発信するまちづくり

・コーディネーター：山本健慈さん（和大学教授）

第3分科会 トキを越えての自主・自立のまちづくり実践

・コーディネーター：堀内秀雄（和助教授）

第4分科会

第5分科会

6 参加費予定：会員¥1000 / 会員外¥2000 学生はどちらも半額（別途+宿泊費+懇親会費）

7 お問合せ+お申込み先

「学校と地域の融合教育研究会」事務局（宮崎 稔会長・宮崎雅子事務局長 自宅）

〒285-0843 千葉県佐倉市中志津7-17-4 TEL&FAX 043 463 1929

メール； miyazaki@jb3.so-net.ne.jp

融合研のホームページに順次詳細を掲載していきます。 <http://www.yu-go.info/>

実践発表をしたい方が、自由におこなう「屋台発表」は、募集を始めました。方法とスタイルは、これまでの反省を生かし、じっくり質問したい・語りたいたいものになるようにしたいと思います。どうぞ、奮ってご応募ください。応募先は、事務局までメールかFAXで。

会員の活動から

本部の動き

本部では、これまで事業の円滑な推進のために、東京周辺に集まって、年間4～5回程度の割合で不定期に事務局会議をおこなってきています。また細部については、メールでの論議も重ねてきています。参加者は、どうしても東京周辺の方が多くなりますが、地方の方が仕事等で上京した折りに参加できるように日程を調整することもしてきました。つまり誰でも参加できる事務局会議です。メール等で予定をお知らせしますので、都合のつく方は是非ご参加ください。今回は、以下のように行います。

1 日時 4月6日（日）午後3：00～

2 場所 習志野市秋津コミュニティ

3 内容 ・大阪フォーラムに関して

・会則（細則）の取り決め

・ホームページやメーリングリストに関するインターネットでの情報交換・情報提供等

終了後に、桜を見ながらの懇親会を予定しています。

大阪から、大阪フォーラム実行委員長の油谷雅次副会長も参加します。

各地での活動

千葉県支部が結成される

会員の数も多く、本部役員や事務局の中心的な役割を果たしている千葉県の会員が、東北・北海道支部に続いて「融合研千葉県支部」を立ちあげました。役員等についてお知らせします。

- ・支部長 ; 上農良廣 (さわやかちば県民プラザ研修課)
- ・事務局長 ; 佐竹正実 (秋津コミュニティ)

第一回の支部勉強会を、以下の通り行います。支部会員以外でも参加できますので、ご都合のつく方はどうぞ。

- ・日時 5月11日(土)午後13:00~17:00 勉強会、

夜は情報交換会 ・泊まれる人はさらに懇親会。

5月12日(日) 午前中に総括 解散

都合のつく時間で参加できます。

- ・場所 「さわやかちば県民プラザ」 〒277-0882 千葉県柏市柏の葉4-3-1 04-7140-8616 fax04-7140-8601

URL <http://www.clis.ne.jp> E-mail kamino01@clis.ne.jp

- ・費用 宿泊する場合、食費・宿泊費・その他込みで5,000円くらい
- ・内容 1) 秋津コミュニティの実践までと課題 ; 「卒業論文・修士論文」からの実践報告
2) 秋津のコミュニティスクールの進捗状況
3) 学校経営と学社融合 ; 鎌ヶ谷市「江口勝善校長」と習志野市「宮崎稔校長」の実践から
内容は、いずれもかなり確率の高い予定です。

島根県の「綺羅星7」の活動

毎年、2月に盛大に開催される島根県の「学社融合フォーラムIN綺羅星7」。融合研も後援をしていますが、数多くの会員が発表者や参加者としても盛り上げています。終了後のメールのやりとりから、概要を感じとってください。また、来年も開催することですので、都合の付く方は是非ご参加してみたいかがでしょうか。

1) 概要

第3回 学社融合フォーラムIN綺羅星7

テーマ : 「子どもの地域貢献」が大人を動かし、地域が煌く!

日時 : 平成15年2月15日(土) 8:30受付 9:00 オープニングセレモニー

場所 : 津和野町民体育館・町民センター (島根県鹿足郡津和野町後田)

内容 : 実践発表 (9:35~11:50)

第1分科会 テーマ「PTAで愉快地町づくり」

好きなもん同士で勝手にやらや!) 浜田 満明 (斐伊川に学ぼう遊ぼう親父応援団 : 島根県)

「地域にとけこむPTA」 大谷 好義 (綺羅星7 : 美都町)

「融合の発想でまちづくりを!」 岸 裕司 (融合研副会長・秋津コミュニティ : 千葉県)

第2分科会 テーマ「つなごう!子どもと大人!キーワードは体験

2) 主催者のメールから

今年も、ありがとうございます。600名の参加のみなさんにとって、幸せに、元気になるフォーラムになったか・・・、そんな思いでいっぱいです。綺羅星7の実践事例と全国の先進地のみなさんの事例のコラボレイは、どうであったでしょうか。綺羅星7にとっては、多くの評価をいただく場となり、感謝感謝です・・・。

夜の大会交流会は、130名の参加者で、大変な盛り上がりでした。昨年より、綺羅星7の参加者も交流上手になりました。動き回る綺羅星7の仲間が弾いてました。来年度もこのフォーラムを開催し、現代版「楽市・楽座」に発展したいと思っています。一番のご多忙の中、2年連続でご参加いただいた岸さん、本当にありがとうございました。長野県上松町の田上さ

んとお仲間のみなさんおいしいお酒ありがとうございました。 また、おいしいお酒を飲みましょう！

3) 参加者のメールから

綺羅星7に参加しました。雑感を記します。

- ・参加者600名の内、わかぬ融合研から会員が長野県上松町の田上さん以下合計11名を筆頭に、島根県、福岡県、佐賀県、大分県等合計20名ほども参加してうれしくなりました。
- ・融合研が「後援」をしていることから、主催者の一つである島根県教育庁益田教育事務所長の佐堂正義様が「～宮崎総会長様には、大変にご協力をいただきまして感謝をしています」と、丁寧に主催者としてご挨拶をしていました。
- ・昨年の融合研主催福岡フォーラム会場の、福岡県立社会教育総合センター所長の重松孝士さん、前センター所長で現在は福岡県穂波町教育長の森本精造さんとも昨年のお礼を述べつつ親交を深めました。
- ・高知県土佐町教育委員会のお二人の参加者は、会員の「えほんの店ココ・サン」の和田智香さんをご存知でした。
- ・4月から融合研の会員になります！との方が一名いました。
- ・そんなこんなで「第3回目を迎えた島根の綺羅星7」は、西の方々にとってはとても貴重なフォーラムになっていることを実感しました。来年度も4回目を開催するとのこと。・そんなことから、融合研でもなんらかで引き続き応援をしていきたいと思いました

融合研の皆様 学社融合フォーラムインウルトラ綺羅 セブンに参加の皆様融クン岸さん 綺羅 大畑さん綺羅 渋谷さん 融合君 岸さんの追っかけよろしく 名古屋 滋賀の浅井町、京都 フォーラム大阪 阪神 山陽道 広島越えて 片道12時間をかけて11名で参加しました。600人のほとんどが融合研のメンバーかと思っておりましたが、そうですか 20名でも一般の先生方600名が津野野に結集されていました。子ども地域貢献 井さんの子どものヘルパー事業はとても新鮮でしっかりしててそれでいてどこでも工夫をすればできるともすばらしい子どもと大人の世界かと思いました。無理なく 自然に 楽しく 大人と子どもが 心を開く学ぶことができるとてもはまってしまった。おいしい話でした。拍手です。無人島指南の若松さんの最後の名詞をいただいた職員はとても感激ファンになってしまい、二人で本を2冊づつ買ってきていました。福岡県穂波町の高貴な森本教育長さん 福岡県立社会教育総合センター所長のダンディ重松孝士さん、校区コミュニティ作りに取り組んでいる福岡県須恵町の誠実な吉松さん、とても校長先生とは思えなかった地域キャラクターいっぱい の浜田さんニュースキャスター田原さん張りの突っ込みの三浦清一郎先生の小気味よいインタビューダイアログ発表 生活体験学校の正平辰男先生の平素にして生活習慣、宗教的情操の練磨そして イッタン有事さんになる前のお話 ポケと突っ込み 学んできました。さすがです。そして 勉強家 津久見の諫山PTA先生 また元気に お料理にあいましょう。準備をされた皆様 本当にありがとうございました。心から 御礼を申し上げます。いたく燃えて一路信州へ帰ってきました。

5 連絡いろいろ

2004年度のフォーラム開催の立候補を受け付けます

- (1) 2004年以降の「フォーラム開催地」の立候補を募集しています。支部や近隣の人と相談したりして手を挙げてください。あるいは、自分ひとりだけでも、その意向がある方は、「事務局へとりあえず相談」してみてください。
- (2) それぞれの地域で開催するミニフォーラムや勉強会の情報をお知らせください。メールでもファックスでも構いません。ホームページに載せて、都合がつく方に広く紹介します。「規模」の大小や「内容」の偏りは問いません。関心のある方に報せたいと思います。

資料「東京都生涯学習審議会」

昨年の12月に、第四期東京都生涯学習審議会(座長:日本社会事業大学教授「大橋謙策さん」)の答申が発表になりました。タイトルは「地域における『新しい公共』を生み出す生涯学習の推進～担い手としての中高年への期待～」です。発行は、「東京都教育庁生涯学習スポーツ部企画課」です。

ホームページは <http://www.kyoikumetro.tokyo.jp/>です。

平成14年東京都教育委員会のホムペ - ジから、審議会記事録等、東京都生涯学習審議会、答申と進むと 地域における「新しい公共」を生み出す生涯学習の推進 を見ることができます。

広く掲載されたものや事務局へ届いたものは、会報への転載を了承されたものとさせていただきます。転載されたくない場合は、その旨連絡ください。